

# 都市基盤整備分科会

－都市と自然が調和し、人にやさしいコンパクトな都市をめざして－

2006年11月18日  
午後2時～5時  
市役所 14階 大会議室

---

|       |      |      |
|-------|------|------|
| 稲場典雄  | 酒井誠  | 森本章倫 |
| 岡本安之  | 佐瀬祐之 | 吉川二布 |
| 加藤眞早代 | 森田陽子 | 渡辺博芳 |

# 目次

---

1. 本市の重点課題に関する認識

2. 重点課題解決に向けた目標（重点目標）

3. 施策・事業の柱

4. 事業内容

参考資料：都市基盤整備分科会 検討内容

## 1. 本市の重点課題に対する認識

### 宇都宮市の都市基盤整備分野における重点課題

#### 宇都宮市の 都市基盤整備 分野における 重点課題

##### ① 50万都市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の品格を向上させる

→宇都宮駅周辺は市外からの玄関として重要であるが、西口周辺は駅前広場が狭く、危険であり、とりまく建物の景観も不適切である。また、東口は再開発を待つ状況にあり、殺風景である。

→この現状を改善し、都市としての顔であるJR宇都宮駅周辺の品格を向上させる必要がある。

##### ② 都市全体の交通サービスの適切化を図る

→バスのサービス水準が悪く、魅力がないため、マイカーを利用しがちで、その結果、バスの利用客が増えず、サービス向上が図れないという悪循環に陥っている。また、通勤者の足としてJRの一層の利用を検討する必要がある。

##### ③ 都市の資源を磨き、個性と魅力を充分に発揮させる

→地域の資源が十分に活かされておらず、情報発信も弱く、市民の利用が少ない。また、観光客が楽しめるような都市観光の魅力が餃子しかない。

→この現状を打開し、内外に魅力ある宇都宮市としての個性と魅力を発揮していく必要がある。

## 50万都市の顔として品格がないJR宇都宮駅周辺

### 生命の危険を感じ、景観的にも恥ずかしい西口駅前



歩行者デッキが交差点手前で終わるため、子どもや高齢者にとって横断は命がけ



消費者金融と餃子の看板が目につく宇都宮駅前景観



閑散としている歩行者デッキ



歩行者デッキの下の目立たない大谷石の蛙



毎日見慣れた光景であるが、これで50万都市の玄関口か



マイカーとバスが入り乱れ朝夕は激しい混雑

## 2. 重点課題解決に向けた目標(重点目標)

### 重点課題に対応した3つの重点目標

#### 都市像

##### 【重点課題①】

50万都市の顔として品格がない  
JR宇都宮駅周辺

##### 【重点課題②】

適切でない交通サービス

##### 【重点課題③】

個性と魅力が十分に発揮できて  
いないまち

都市と自然が  
調和し、人にや  
さしいコンパク  
トな都市をめざ  
して

#### 3つの重点目標

##### ① 宇都宮市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の景観形成

→広域からの玄関口であるJR宇都宮駅周辺の景観形成、機能強化を図る。

##### ② 車だけに頼らない交通サービスの実現

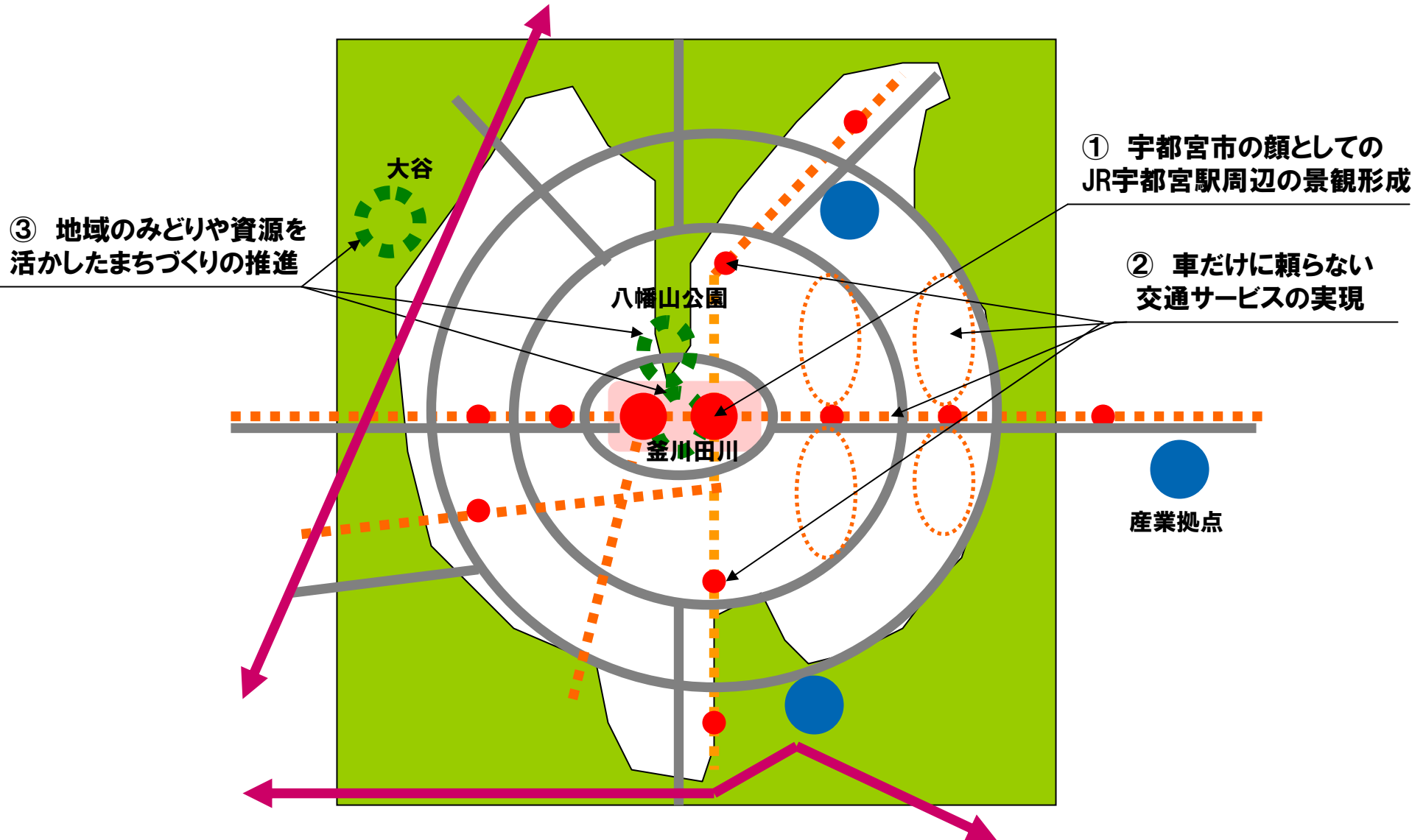
→高齢社会に対応し、鉄道の利便性の向上、既存バスサービスの改善、新しい公共交通システムの導入の検討など、車だけに頼らない交通サービスの実現に向けて、抜本的な改善を図る。

##### ③ 地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進

→地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

## 2. 重点課題解決に向けた目標(重点目標)

### 都市と自然が調和し、人にやさしいコンパクトな都市をめざして



### 3. 主要な事業

**宇都宮西口の改造、交通サービスの改善、八幡山や釜川の活用、大谷の魅力アップを推進すべき**

---

#### 主要な事業

**①西口駅前広場の再整備・歴史性を語る美しい西口周辺の景観形成**

**②都市交通サービス改善プロジェクト・公共交通指向型まちづくりの推進**

**③地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進**

**③-1 八幡山公園を活かす**

**③-2 釜川を活かす**

**③-3 大谷を活かす**

## 4. 事業内容

### ①西口駅前広場の再整備・歴史性を語る美しい西口周辺の景観形成

---

#### ①対象

- 市民、来訪者

#### ②目的

- 現状の駅前は、タクシー、自家用車、バスが入り乱れ、デッキも途中で歩道に降りており、危険である。安全性を確保し、快適性を向上する。
- 宇都宮市の表玄関として風格と歴史性の駅前景観を形成する。

#### ③事業概要

- 駅前広場の全面的な再整備を行う。具体的には、駅前広場を拡張し、北口、南口を開設し、バス、タクシー、自家用車の明確な区分を行うとともに、歩行者デッキを駅前通りの歩道まで伸ばす。
- 駅前商業ビルの再開発を促進し、公開緑地を確保するとともに、派手な広告を規制し、風格のある駅前景観を形成する。

#### ④事業主体

- 市・事業者

西口広場のあり方をみんなで考えよう！ もっと安全に もっと使いやすく もっと美しく



参考例 金沢駅前広場

## 4. 事業内容

### ②都市交通サービス改善プロジェクト・公共交通指向型まちづくりの推進

---

#### ①対象

- 市民、来訪者

#### ②目的

- 人と環境にやさしい社会の形成に対応し、車だけに頼らない交通体系の実現を図る。
- 全市的にバスサービスの飛躍的改善を行い、バス利用者を増加させる。
- マイカーの利用を抑制するために、公共交通を前提とした開発の誘導を行う。

#### ③事業概要

- バスサービスの改善、新しい交通システムの導入、JR新駅の設置等を検討する前提となる宇都宮市全体の交通体系をあるべき姿を検討する。
- バス運転手の接遇の改善、ゾーン別バス料金制度の検討、宮バスの効率的な活用、ルート、停留所の見直しなどを検討する。
- 官民が協力し、公共交通が整わない新規開発は抑制するとともに、既存住宅地におけるきめ細かいバスサービスを検討する。JR宇都宮線宇都宮・岡本間、宇都宮・雀宮間に新駅を設置することを検討する。

#### ④事業主体

- 市、民間事業者

## 4. 事業内容

### ③地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進

---

#### ①対象

- 市民、来訪者

#### ②目的

- 現在あまりうまく使われていないみどりや資源の魅力の向上を図る。特に、中心部では、八幡山公園、釜川、郊外部では大谷地域の魅力を磨き、市民や来訪者に愛され、利用の拡大を図る。

#### ③事業概要

- 八幡山公園については、家族連れや恋人連れが安心して憩える場所とし、中心部からの交通アクセスを改善するとともに、宇都宮タワーの夜間開放、お洒落なレストランや植物園の設置、イベントの開催などを通じて利用魅力を高める。運営は指定管理者制度を活用し、民間やNPOなどとし、有料化も検討する。
- 釜川は沿道沿いを歩行者優先道路とし、歩きやすい環境とし、朝市や屋台などにより、宇都宮市の都心のシンボルとする。
- 大谷地域については、東北自動車道大谷PAにスマートインターチェンジを設置し、域外からのアクセスを改善するとともに、大谷地域に道の駅、大谷研究所を整備し、大谷観光及び保全利活用の拠点を形成する。

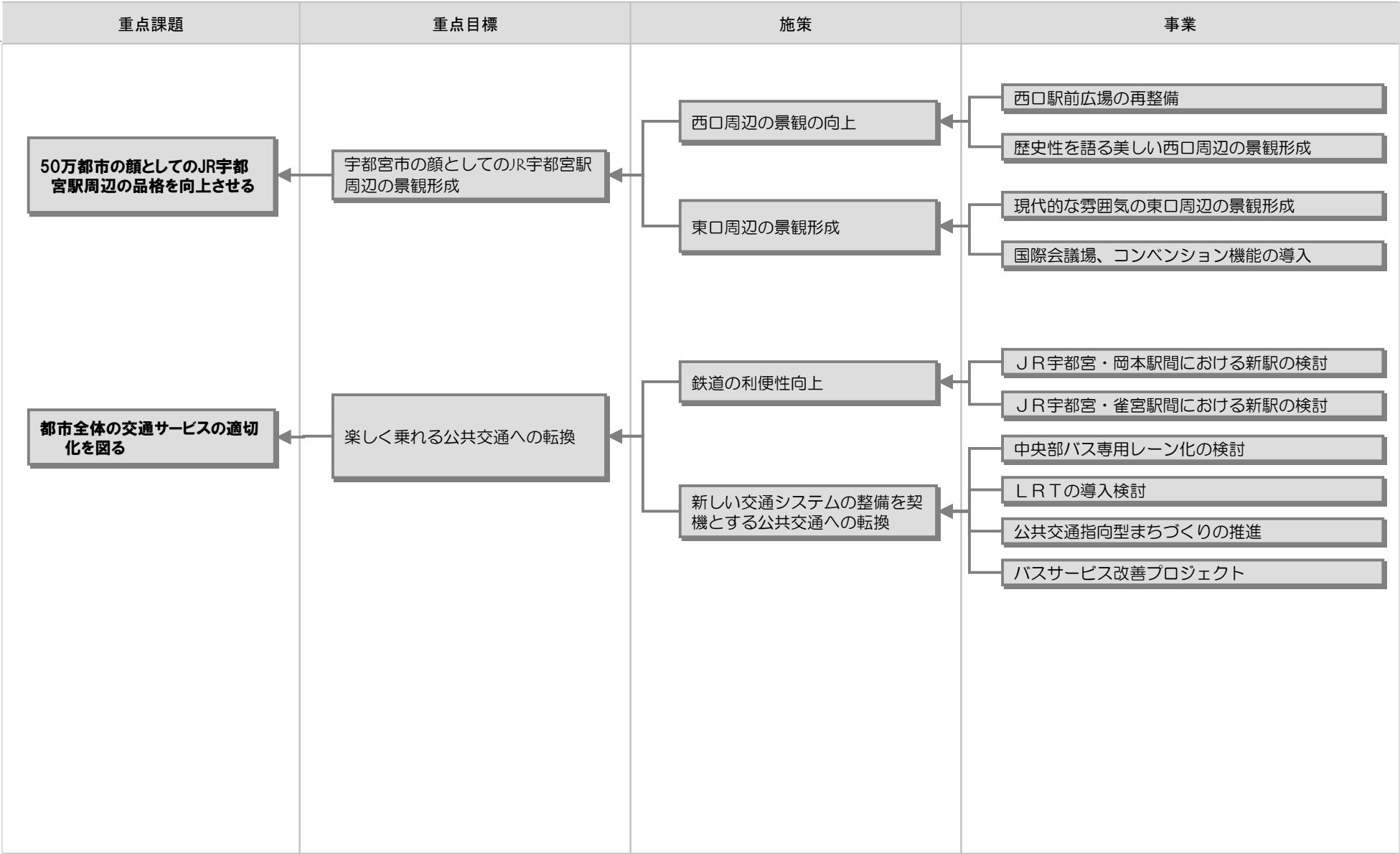
#### ④事業主体

- 市、NPO、大学、民間企業、地域

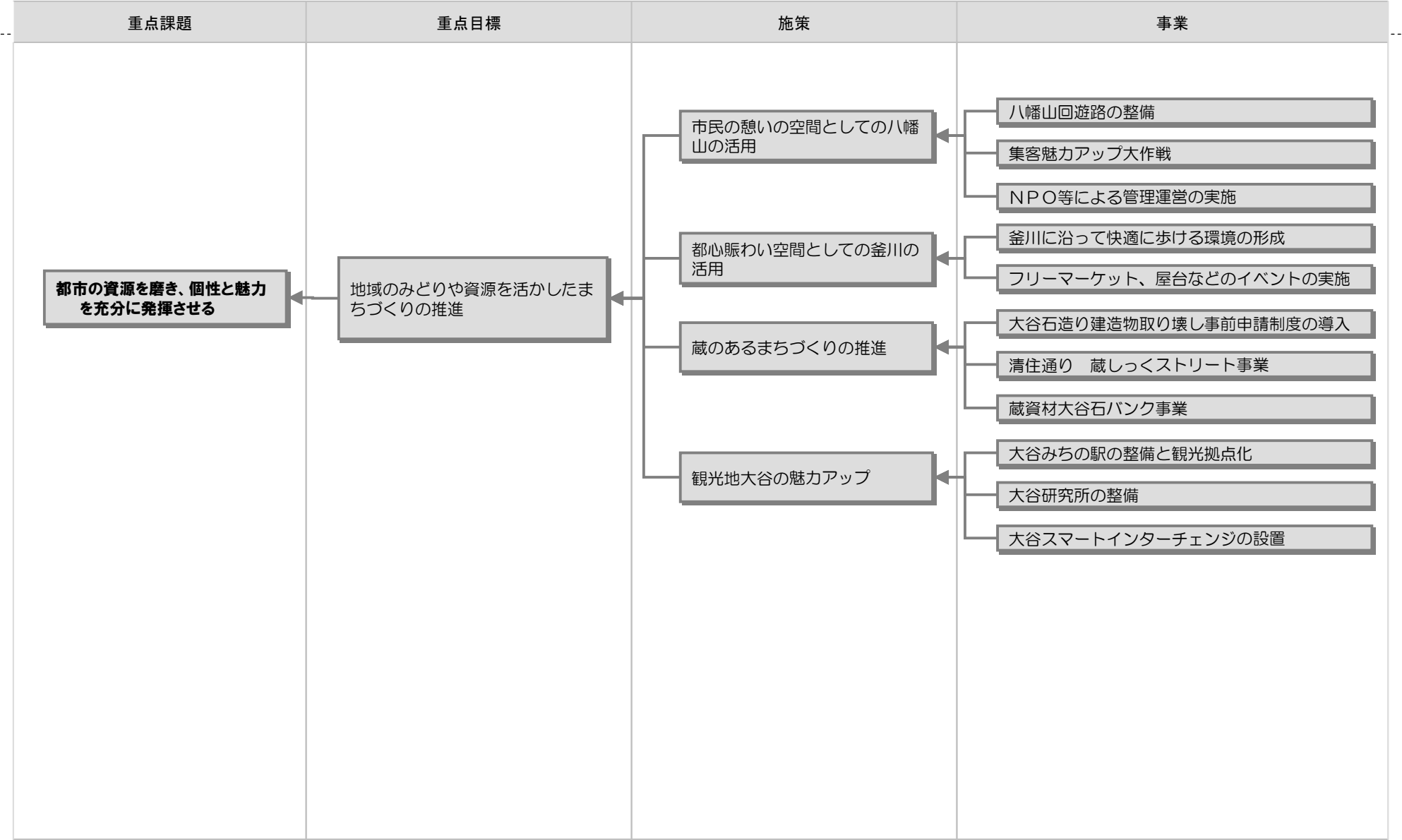
---

参考資料：都市基盤整備分科会 検討内容

【施策体系】



【施策体系】



## 重点課題1. 50万都市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の品格を向上させる

### 重点目標：「宇都宮市の顔としてのJR宇都宮駅周辺の景観形成」

広域からの玄関口であるJR宇都宮駅周辺の景観形成、機能強化を図る。

#### 施策①：「西口周辺の景観の向上」

現在、安全性、景観に多くの問題がある駅前広場及びその周辺地域の抜本的再整備を行い、宇都宮市の表玄関として風格と歴史性の駅前景観を形成する。

| 事業名                | 対象     | 目的                                                                | 事業概要                                                                                     | 事業主体  |
|--------------------|--------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 西口駅前広場の再整備         | 市民、来訪者 | ・現状の駅前は、タクシー、自家用車、バスが入り乱れ、デッキも途中で歩道に降りており、危険である。安全性を確保し、快適性を向上する。 | ・駅前広場の全面的な再整備を行う。具体的には、駅前広場を拡張し、北口、南口を開設し、バス、タクシー、自家用車の明確な区分を行うとともに、歩行者デッキを駅前通りの歩道まで伸ばす。 | 市     |
| 歴史性を語る美しい西口周辺の景観形成 | 市民、来訪者 | ・宇都宮市の表玄関として風格と歴史性の駅前景観を形成する。                                     | ・駅前商業ビルの再開発を促進し、公開緑地を確保するとともに、派手な広告を規制し、風格のある駅前景観を形成する。                                  | 市・事業者 |

#### 施策②：「東口周辺の景観形成」

現在整備中に市街地整備事業における東口整備において、宇都宮市の東の玄関として現代的な景観を形成するとともに、コンベンション機能の強化を図る。

| 事業名                 | 対象     | 目的                                 | 事業概要                                                             | 事業主体 |
|---------------------|--------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|
| 現代的な雰囲気のある東口周辺の景観形成 | 市民、来訪者 | ・市街地整備事業において、東口は現代的な雰囲気のある景観形成を図る。 | ・使いやすい駅前広場を整備するとともに、現代的な雰囲気のある駅前広場、歩行者デッキとする。西口とあわせて、北口、南口を開設する。 | 市    |
| 国際会議場、コンベンション機能の導入  | 市民、来訪者 | ・産業都市宇都宮市の活力を高める。                  | ・市街地整備事業において、国際会議場、コンベンション施設の導入を検討する。                            | 市・民間 |

## 重点課題2. 都市全体の交通サービスの適切化を図る

### 重点目標：「車だけに頼らない交通サービスの実現」

高齢社会に対応し、鉄道の利便性の向上、既存バスサービスの改善、新しい公共交通システムの導入の検討など、車だけに頼らない交通サービスの実現に向けて、抜本的な改善を図る。

#### 施策①：「鉄道の利便性向上」

JR宇都宮線に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。

| 事業名                 | 対象     | 目的                                | 事業概要                                 | 事業主体    |
|---------------------|--------|-----------------------------------|--------------------------------------|---------|
| JR宇都宮・岡本駅間における新駅の検討 | 市民、来訪者 | ・JR宇都宮、岡本駅間に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。 | ・平出工業団地周辺における設置を検討する。地域企業、住民の寄付を集める、 | 市、JR、地域 |
| JR宇都宮・雀宮駅間における新駅の検討 | 市民、来訪者 | ・JR宇都宮、雀宮駅間に新駅を設置し、通勤通学の利便性を向上する。 | ・川田町、一里周辺における設置を検討する。地域企業、住民の寄付を集める、 | 市、JR、地域 |

#### 施策②：「新しい交通システムの整備を契機とする公共交通への転換」

既存バスサービスの改善、新しい公共交通システムの導入などを契機とし、マイカーから公共交通への転換を官民共同で促す。

| 事業名              | 対象     | 目的                                                                           | 事業概要                                                                                                                           | 事業主体      |
|------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
| 都市交通サービス改善プロジェクト | 市民、来訪者 | ・人と環境にやさしい社会の形成に対応し、車だけに頼らない交通体系の実現を図る。<br>・全市的にバスサービスの飛躍的改善を行い、バス利用者を増加させる。 | ・バスサービスの改善、新しい交通システムの導入、JR新駅の設置等を検討する前提となる宇都宮市全体の交通体系をあるべき姿を検討する。<br>・バス運転手の接遇の改善、ゾーン別バス料金制度の検討、宮バスの効率的な活用、ルート、停留所の見直しなどを検討する。 | 市、民間事業者   |
| 中央部バス専用レーン化の検討   | 市民、来訪者 | ・バス運行の定時性の向上を図り、サービスを改善する。                                                   | ・ソウル市等で実施されている中央部走行方式を検討する。その成果はLRT方式の参考にする。                                                                                   | 市、バス事業者   |
| LRTの導入検討         | 市民、来訪者 | ・公共交通への転換を図るため、人と環境にやさしいLRTの導入を検討する。                                         | ・現在、市と県で構想しているLRTについて、事業費、後年度の負担、事業スキーム、運行方式、運行ルートなど導入について可否も含めて引き続き検討する。                                                      | 市、県、民間事業者 |
| 公共交通指向型まちづくりの推進  | 市民、来訪者 | ・マイカーの利用を抑制するために、公共交通を前提とした開発の誘導を行う。                                         | ・官民が協力し、公共交通が整わない新規開発は抑制するとともに、既存住宅地におけるきめ細かいバスサービスを検討する。                                                                      | 市、民間事業者   |

### 重点課題3. 都市の資源を磨き、個性と魅力を充分に発揮させる

#### 重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」

地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

#### 施策①：「市民の憩いの空間としての八幡山の活用」

八幡山を四季おりおりの市民の憩いの空間として活用する

| 事業名            | 対象     | 目的                            | 事業概要                                                                       | 事業主体    |
|----------------|--------|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------|
| 八幡山回遊路の整備      | 市民、来訪者 | ・八幡山公園のアクセスの向上を図る。            | ・周辺に公園駐車場を整備し、市内からのバスのアクセスを図る。公園内は車乗り入れ禁止とし、回遊路にのみ人にやさしい乗り物を走らせ、公園内を回遊させる。 | 市       |
| 集客魅力アップ大作戦     | 市民、来訪者 | ・四季を通じて、集客魅力を図る。              | ・宇都宮タワーは夜間も開放し、バスとのセット券を発行する。おしゃれなレストランやフラワーガーデンなどを整備する。また、季節ごとのイベントを開催する。 | 市、運営事業者 |
| NPO等による管理運営の実施 | 市民、来訪者 | ・市からNPOや民間企業の運営に移行し、魅力アップを図る。 | ・公園を有料化し、指定管理者制度を活用し、NPOや民間企業での管理運営とする。                                    | 市、運営事業者 |

#### 施策②：「都心賑わい空間としての釜川の活用」

釜川ウォーターフロントを都心の賑わいと憩いの空間として有効活用する。

| 事業名                   | 対象     | 目的                              | 事業概要                                                                      | 事業主体 |
|-----------------------|--------|---------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------|
| 釜川に沿って快適に歩ける環境の形成     | 市民、来訪者 | ・釜川ウォーターフロントを市民が憩い楽しむ空間として活用する。 | ・居住者、搬送者以外の車を乗り入れ禁止とし、ベビーカーや女性が歩きやすいみちとし、ベンチなどを整備する。また、釜川から田川まで歩けるよう工夫する。 | 市    |
| フリーマーケット、屋台などのイベントの実施 | 市民、来訪者 | ・釜川を市民や観光客が集う空間とする。             | ・フリーマーケットや朝市、屋台などのイベントを実施する。                                              | NPO等 |

### 重点課題3. 都市の資源を磨き、個性と魅力を充分に発揮させる

#### 重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」

地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

#### 施策③：「蔵のあるまちづくりの推進」

宇都宮市全域で蔵のあるまちづくりを推進する

| 事業名                   | 対象     | 目的                                                               | 事業概要                                                                                                    | 事業主体        |
|-----------------------|--------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 大谷石造り建造物取り壊し事前申請制度の導入 | 市民     | ・宇都宮市の個性である大谷石造りの蔵等のむやみな破壊を抑制する。                                 | ・条例を設け、市内全域を対象とし。アドバイザー委員会を設置し、取り壊しの場合の事前申請制度を設け、委員会で活用、保存の方策等のアドバイスをを行う。取り壊さざるを得ない場合、大谷石材バンクを活用するよう促す。 | 市           |
| 清住通り 蔵しっくストリート事業      | 市民、来訪者 | ・蔵のまちなみが比較的残っている清住通りについて、蔵の保存に努め、観光客も散策できるようなみちとする。              | ・地域NPOを主体にして、蔵の分布調査、パンフレットの作成、建造物のリニューアル、イベントの実施、ショップの運営などを行い、観光客の誘致を図る。                                | NPO、大学、建築家等 |
| 蔵資材大谷石バンク事業           | 市民、事業者 | ・市内全域を対象に、やむを得ず取り壊さざるを得ない大谷石については、一時集積を行い、内装や再生で必要とする人々に安価に頒布する。 | ・取り壊しに伴って廃棄される大谷石の資材を収集、再生修復し、内外装材として、希望者に頒布する。                                                         | NPO等        |

重点課題3. 都市の資源を磨き、個性と魅力を充分に発揮させる

重点目標：「地域のみどりや資源を活かしたまちづくりの推進」  
地域のみどりや資源を活かし、魅力あふれる宇都宮市を形成する

施策④：「観光地大谷の魅力アップ」  
大谷及びその周辺を全国から集客できるような観光地として育てる

| 事業名               | 対象     | 目的                                             | 事業概要                                                                 | 事業主体      |
|-------------------|--------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------|
| 大谷みちの駅の整備と観光拠点化   | 市民、来訪者 | ・大谷に車が入り込むことを避け、みちの駅を整備し、地域観光、地域産業の拠点とする。      | ・大谷石細工、農産物など地域の物産を集めた魅力ある道の駅とするとともに、そこから徒歩、自転車やバスなどで周遊や散策を促す交通拠点とする。 | 地域住民団体等   |
| 大谷研究所の整備          | 市民、来訪者 | ・大谷石の研究、大谷石採掘場の活用などを研究する拠点を整備する。               | ・大谷みちの駅と併設させ、大谷石切削の歴史の展示、加工体験、調査研究を行う。                               | 大谷石組合、大学等 |
| 大谷スマートインターチェンジの設置 | 市民、来訪者 | ・大谷パーキングエリアにETC限定の出入口を設置し、大谷地域への観光客の利便性を向上させる。 | ・現在全国で社会実験が行われており、国土交通省に提案する。                                        | 市、県       |